

町小だより

令和6年
4月25日
No. 685
御免町小学校

誰かのために

校長 相澤 祐助

春休み中、所用のため電車に乗って新潟へ向かいました。西新発田駅で高校生くらいの女子が4人乗車し、空いている席に座りました。春休みということもあって、仲良く楽しそうに会話をしているようでした。豊栄駅で親子4人が私たちの車両に乗り込みました。小さな女の子と小学生くらいの男の子、そしてお父さん、お母さんのようです。すると、4人組女子の一人が立ち上がり、「どうぞ座ってください」と4人の親子の**ために**席を譲ってくれたのです。他の3人の女子も笑顔で、「どうぞ、どうぞ」という笑顔で立ち上がっていました。

90名の新1年生を迎え、全校児童492名で御免町小学校の令和6年度がスタートし、3週間が経過しました。6年生が1年生の教室に行き、朝の身支度のサポートや早く準備を終えた子に本の読み聞かせをしてくれています。また、初めて給食を経験する1年生に対して準備や後片付けの手伝いをしていています。まさに、かわいい後輩である1年生の**ために**動く6年生の姿がありました。

新学期が始まり、朝学習の前に、児童玄関や廊下、階段の掃除を進んでやってくれている学年もあります。御免町小学校は校舎が白く、きれいなので綿ゴミが目立ちます。それを見て、少しでも御免町小がきれいで、学習しやすい学校であり続ける**ために**朝の時間を使って活動してくれています。

今年の1学期の始業式で私は、「今年も『**優しく 粘り強い**』御免町小の子どもを目指そう」と話しました。そして今年はそのに、『**つながり**』を付け加えました。「つながる」というのは簡単ではありません。人間はほとんど、自分のために、自分中心で物事を考え、行動します。わざわざ自分の時間を、自分の権利を人に譲ることはしたがりません。しかし、上に書いた3つの話はすべて、『**誰かのために**』の行動です。これらの行動はどれも見返りを求めています。親子のこと、後輩のこと、学校のことを思いやりの行動です。そこがすごいところです。町小の全員が「誰かのために」の行動を毎日やっていたら、ものすごい学校になると思います。愛情あふれた学校になること、間違いなしです。

さあ、令和6年度が始まりました。学校職員54名で、保護者の皆様の大切なお子さんをお預かりします。家庭と学校とがお互いに理解し合い、協力し合いながら、「子どものために」力を出し合っていきましょう。また、地域の皆様方からは子どもたちを温かく見守ってくださり感謝申し上げます。学校と家庭と地域がつながる、そんな1年になることを目指していきます。どうぞよろしくお願いいたします。